

三重県アゼオトギリ勉強会 資料

- シート1 坂井高校の発表を始めます
よろしくお願いいたします
- シート2 昨年は日本自然保護大賞に応募したところ、一般の方を含め70件の中で10件が入賞し、本校も絶滅危惧種の保全活動で入選しました。
- シート3 また、福井県里山里海湖研究所活動表彰を受けることができ一定の評価を得ることができました。
- シート4 この活動をSDGs活動に位置付け、特に目標4「質の高い教育をみんなに」というテーマでの広報活動に力を入れました。
マイノリティに着目するということで絶滅危惧種に着目することで多様性を認め平等な社会を作る考え方を広める一環で広報活動を活発にしました。
- シート5 昨年は新聞への掲載3件、発表会への参加10件、NHKや福井放送での放映2件と多くの取材をうけ、番組まで製作していただきみなさんに広く知っていただいたと思います。
- シート6 2月29日に福井県農業試験場の研究成果発表会に参加しました。
そこで、農家の方から、「なぜ私たちが苦勞して駆除している雑草を保護するのか。例えば、駆除に苦勞しているアワやヒエの減少に効果があるなど利点があればわれわれも積極的に種の保存のために植える」というご意見をいただきました。
- シート7 そこで、アワやヒエ、他の雑草などに効果がないか調べることにしました。

今年も自生地近くの保全区で移植活動を行い、板倉みどりクラブの方々にも、他の雑草などに影響があるかをお聞きしましたが変化はわからないということでした。

北陸農政局からみどりの戦略学生チャレンジへの参加の話があり、参加をしました。

肥料を大量に使用し、農作物の質が高まった反面、病害虫も増え、農薬も大量に使うようになりました。

化学的に作られているものを使っていると塩がたまっていきます。いずれか農作物を作ることができなくなるのではないかと考え、アゼオトグリの保全を通し、利便性と環境負荷軽減のバランスを考え、持続可能な農業を実現するというテーマで活動を進めています。

このような活動を続けていく中で、保全を進める意義や農家さんからのご意見に対してどのような研究をするとよいのか案がありましたら教えてください。

シート8 以前コケが生えているところは成長がいいという話がありました。コケや石わかめで根をくるむという条件と地際にコケや石わかめを敷き詰める形で生育調査を行いました。継続研究中ですが、

シート9 以前液体肥料で成長を促進させようとハイポネクス 1000 倍で与えたところ枯れました。2000 倍で与えたところ枯れず、成長促進させることができました。今年は、1000 倍から 2000 倍の間でどの濃度が適切かを 200 倍刻みで研究してます。

シート 10 現在、表から見ると 1600 倍付近が一番成長しているのではないかと推測できます。継続研究を進め、結果をご報告します。

シート11 以上で発表を終わります
ご清聴ありがとうございました。